



少子高齢化と人口減少による過疎化、郊外への大型店舗の進出に伴う中心市街地の衰退。これらは稚内に限らず、全国どこの地方都市でも起こっている現象です。そんな先細りする市場の中で、コンビニの躍進、ネット通販の台頭の影響も大きく、小売業界は長期的な売上げ減少に苦しんでいるのが現状でしょう。

そんな厳しい状況の中でも、とりわけ消費者の「食」と直結するスーパーマーケット（以下スーパーに略）は、この先どのような発想で生き残りを図っていく必要があるのでしょうか。

稚内市内では駅から最も近いスーパーであり、中央商店街の象徴的存在、5年後には創業百年を迎える老舗、(株)相沢食料百貨店「食品館 あいざわ」の福岡常務にお話を伺いました。



代表取締役  
相沢 誠吾さん

昭和26年7月7日生まれ。稚内市出身。旭川や札幌の間屋で修行し、25歳の時にUターン。以後、家業に従事する。1997年、代表取締役に就任。創業百年には新築オープンを計画している。長きに渡り、稚内駅前地区市街地再開発事業の理事長を務めるなど、その功績は大きい。稚内中央商店街になくてはならない重鎮。



写真左/リニューアルオープンによって、洗練されスッキリとした店内。右/「コストコ」の商品がどーんと並ぶCOSTCO SALE。

# 福岡 加奈さん

(株)相沢食料百貨店「食品館 あいざわ」 常務取締役

安さよりも「美味しさや楽しさ」を地域に届けたい。5年後に創業百年を迎える

稚内中央商店街の老舗スーパーが売場を一新。

## 四代目になる決意での帰郷

父は「帰ってこい」とは言いませんでしたし、当時東京で就職していた私自身も、店を継ぐことになるとは思っていませんでした。ある時、父から「会社を手放してもいいと思ってる。環境は厳しくなるばかりで、後継者もいないし」と聞くまで、幼い頃から店を手伝うこともなく、自由に育てられた私には、家業に入るという発想すらありませんでした。当時在職していた会社の社長に「地域の方に必要とされる会社なら、必ず生き残っていきける。稚内を盛り立てていく使命感を持って帰んなさい」と背中を押してもらい、まずは創業百年まではやって

みようよと、懐かしい故郷の土を踏みました。帰ってきたその時期は、店だけではなく、街も活気を失ってしましました。かつて賑やかだった中央商店街は歩く人もまばらで。土日などは悲惨です。市役所も信金さんなどの金融機関もお休みだから、誰もわざわざ中央商店街のスーパーへ行こうなどとは思いません。郊外には新しいスーパーもでき、チラシで安売り合戦。この厳しい環境を前に、どうすべきか分からず試行錯誤して初めて、長年「市街地再開発事業」に身を投じてきた父の気持ちも分かるようになってきた気がしています。

仕事は早朝からの品出しとレジ業務からのスタート。経営というもの、丸つきり分かっていませんでした。また、跡取りの娘が帰ってきたからといって、すぐに社内の信頼を得られるはずもありません。一人、二人と、目指す店づくりを共有できる社員が増え、ようやく2年ほど前から自分たちの考え方に自信を持ち、独自の方向性を打ち出せるようになってきたのかなと思います。

## 任されたリニューアルオープン

この場所へ移転して、ちょうど20年。そんな節目となる今年の1月30日にリニューアルオープンいたしました。現在の日本は、安さだけではな

曾祖父の名が誠作、祖父が誠一郎、父が誠吾。代々の「誠」の字に恥じない商いをしていきたい。



20年以上続けている市内無料配達に加え、近郊地域への当日宅配サービスもスタートさせ、さらに利便性を高めていきたいと話す福岡常務。

く、美味しさや安全性、利便性、サービスに価値を置く成熟した社会です。その中で選ばれるスーパーでなければいけません。都会では当り前の「美味しさや楽しさ」が感じられる店にしたいと考えました。そのため、全国から選りすぐった『あいざわセレクト』や、百貨店でしか買うことのできないスイーツなどの『お取り寄せ』、安全な原料と伝統の製法を追求する『自然の味』など、あいざわで買えない商品を取り揃えています。

生鮮品は、鮮度にこだわった地場のもので、総菜は季節折々の味を、自分の家族に供するものという思いで手間をかけて手作りしています。当店にはご年配のお客さまも多くいらっしやいますので、通路幅や照明等、店内の見やすさにも気を配りました。念願だった多目的トイレとイートインスペースを新設し、ご好評をいただいております。 **楽しさや健康づくりのお手伝い** 結婚して伴侶を得て、2人で毎

月、食の勉強会『美味しい教室』を昨年から企画しています。毎回異なるテーマで、生産者をお招きしてお話を伺ったり、食品添加物など食品を選ぶ上で必要な勉強をしています。少しずつ関心を持っていただけるお客さまも増えてきました。5月からは「健康体操タイム」「あいざわヨガ教室」「バランスボール教室」も毎月主催することになりました。地域の健康人口を上げるために活動されている方と一緒に、食のみならず、お客さまの身体が少しでも楽になるようなアプローチも今後はしていきたいと思っています。

また、リニューアル100日を記念して、T・ジョイ稚内様にご協力いただき、ドキュメンタリー映画『人生フルーツ』の上映も企画し、ご好評を得ました。90歳の建築家のご主人と87歳の奥様の丁寧な暮らしを描いた物語で、ぜひ稚内のみなさまにもご紹介したかったのです。 ネットやAIの時代となり、これからはますます店舗が持つ意味も大きく変わってくるはず。今は商品を守るだけでなく、地域のみなさまと一緒に楽しむ場づくりとしてもお役に立てたらと考えています。 今回のリニューアル休業中に、



A/あいざわセレクトコーナーとこだわりのアイスコーナー。  
B/季節ごとに新鮮な野菜やフルーツが並ぶ青果コーナー。  
C/前浜や近海で揚がる新鮮な魚介類も並ぶ鮮魚コーナー。

★お買い得情報は、随時フェイスブック、ツイッター、インスタグラムで発信中！

- Facebook: <https://m.facebook.com/AIZAWAFOOD/>
- Twitter: [https://mobile.twitter.com/aizawa\\_food](https://mobile.twitter.com/aizawa_food)
- Instagram: [https://www.instagram.com/aizawa\\_food/](https://www.instagram.com/aizawa_food/)

## Company Profile

株式会社 相沢食料百貨店「食品館 あいざわ」 稚内市中央3丁目5番8号 ☎0162-22-5020 📞0162-22-5024  
■大正10年4月、相沢誠作氏、当地にて創業 ■昭和35年6月、株式会社に組織変更、相沢誠作氏、代表取締役に就任  
■昭和39年6月、相沢誠一郎氏、代表取締役に就任 ■平成7年6月、現店舗へ移転 ■平成9年8月、相沢誠吾氏、代表取締役に就任  
■資本金/3,000万円 ■従業員/55名 (パート含む)

## Personal Profile

福岡 加奈さん 昭和57年2月17日生まれ。稚内市出身。中学卒業まで稚内で育ち、高校進学時から札幌へ。その後、東京でアパレル系の会社員となる。27歳の時に帰郷し、(株)相沢食料百貨店の後継者になることを決意。昨年結婚し、夫も商品部長として活躍している。